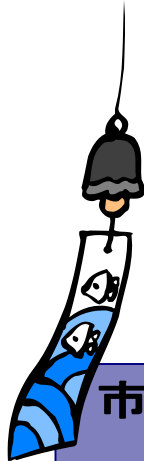


サポートセンター通信

NO.40

発行：松本市市民活動サポートセンター
〒390-0874 松本市大手3-8-13
松本市役所大手事務所2階
TEL/FAX：0263-88-2988
E-mail：support-center@support-center.jp
URL：http://www.support-center.jp



市民活動フェスタ2012in松本 ぼくらの学校 ～みんなの心をつなげて～

日時：9月29日(土) 10:00～16:00
(会場準備：28日(金) 17:00～)
場所：あがたの森 講堂棟・公園並木道 ほか

市民活動フェスタ実行委員会 始動!

市民活動フェスタ2012in松本「ぼくらの学校」は、「～みんなの心をつなげて～」をサブテーマに、9月29日(土)に開催することになりました。「たくさん集めて、たくさん遊んで、たくさん笑おう」のフレーズで参加団体を募集し、**第1回実行委員会**を7月4日に開催しました。

～プログラム内容～

企画進行中!

オープニングセレモニー

市内の太鼓連による太鼓演奏(寄せ太鼓)

展示

講堂に設けたブースに、各団体の活動を紹介する資料やポスターを展示

パフォーマンス

講堂や並木道で、音楽や踊り等のライブ披露

販売・喫茶

並木道で食事やオリジナルグッズの販売

その他

あがたの森の公園内を利用したウォークラリー/はっぱスタンプなどの体験コーナー/おもちゃつき/ペーパークラフトづくり/チャリティーフリマ 等

プログラム内容については、実行委員会でさらに具体化していきます。



参加団体追加募集!!

参加団体の追加募集を行いますので、参加を希望する団体は、7月23日(月)までにサポートセンターへ具体的な参加内容とともに、お申込みください。

第2回実行委員会

日時：7月25日(水) 19:00～
会場：市民活動サポートセンター
内容：会場レイアウト、タイムスケジュールなどを決めます!

トークイベント

地域に溶け込む音楽イベントとは?

都市型音楽イベントとして2005年から2011年まで開催された松本市民音楽祭 MMF(マツモトミュージックフェスティバル)の事例を通して、地域と芸術の関係性を考えるトークセッションイベントを行います。新しい表現の場の可能性をみなさんと討議していきます。

日時：7月24日(火) 19:00～20:30

場所：松本市市民活動サポートセンター

ゲストスピーカー：藤岡 浩志 氏(MMF2011 実行委員長)

対象：音楽イベントに関心がある方、文化による地域振興に関心がある方、どなたでも

定員：40名(事前申込をお願いします。)

参加費：無料

主催：松本市市民活動サポートセンター

とまり木×ライフデザインセンター コラボ講座 プラチナ世代支援セミナー ～峠に立って見はるかす～ 輝いて生きるために

人生においても峠に立って見渡すことで新しく見えてくるものがある... 様々な市民活動を実践されている大澤秀夫先生に、心豊かに生きていくためのヒントと、ご自身の実践の体験をお話いただきます。

日時：8月7日(火) 10:00～12:00

場所：松本市市民活動サポートセンター

講師：大澤 秀夫 氏

(ライフデザインセンター理事・敬和学園大学人文学部教授)

対象：プラチナ世代の方、一般市民の方、関心のある方ならどなたでも

定員：50名(先着順)

参加費：500円

主催：松本市市民活動サポートセンター
NPO法人ライフデザインセンター

避難者支援事業

市民活動サポートセンターでは、松本で避難生活をされるみなさまを官民協働で支援するため、さまざまなプロジェクトをスタートさせました。

避難者交流委託事業

避難者の皆さんに松本の暮らしに慣れ親しんでいただくことを目的とした交流事業の受託者を公募しました。一次募集は6月末に締め切られ、審査の結果、以下の事業（団体）が採択されました。

- ・おはなし会と施設紹介（本と子どもの発達を考える会）
- ・親子カラーセラピー（フリマネット信州）
- ・郷土食づくり交流会（もぐもぐキッズ）
- ・こころの茶話会（同窓サークル）
- ・自然医学講座（NPO ライフケア）
- ・出張わらべ館（松本わらべ館設立準備室）
- ・内部被ばくを避ける食べ方学習会
（子どもが輝く食育ネットワーク松本）

・はぐまつ交流会（子育てコミュニティサイトプロジェクト）
草の根の交流をお得意とする市民グループの皆さんに活躍していただきます。

今後、2次募集を8月以降に予定していますので、交流事業の開催を検討していて委託事業に関心のある団体の方は、当センターにお問い合わせください。

避難者支援団体交流会

委託事業に先がけて、支援団体の交流会が開催されました。

避難者との交流をしている団体と、これから考えたいというグループ、合わせて12団体が活動の報告と、意見交換をしました。他にも当事者の立場で支援活動の拠点を立ち上げた「手をつなぐ3.11信州」や、松本市からは消防防災課（前危機管理室）女性センター、地域づくり課などの関係課と社協ボランティアセンターが加わって、今後の連携について考えました。

募金活動や支援物資の提供にはじまり、絵本の読み聞かせや親子の料理教室をとおして交流機会を持ってきた団体など、活動は様々ですが、参加者から出された意見「松本は受け入れる心があることを伝えたい。地域に溶け込むためのお手伝いをしたい」という思いを共有することができました。



避難者支援団体交流会の様子

相談窓口

7月からサポートセンター内に総合窓口を開設し、避難者の皆様からの相談を受け付けています。また「お役に立ちたい」という方にボランティア先を紹介をしたり、活動団体からの情報を集約し、避難者と支援者の橋渡しをしていきます。

まつもと Life

～避難生活サポート通信～

松本の生活に役立つ情報、支援者からの情報をまとめて、隔月で避難者のみなさまにお届けしてまいります。掲載情報がある方はサポートセンターまでお問い合わせください。

なかまカフェ

「松本避難者の会」の皆さんと共催で、避難者同士が気楽に思いを語り合える茶話会を、第2、第4土曜日の午後で開催します。

参加費はお茶代として100円。（要予約）



託児ボランティア救急救命実習の様子



託児ボランティア養成講座 開講中！

松本市ボランティアセンターとの共催で、避難家族の子育て支援のための託児ボランティアの養成講座を開講中です。24名の受講生が、保育園での実習を含む全7回の講座を熱心に受講しています。

7月末までのプログラムを修了し、登録していただいたボランティアさんには、上記委託交流事業開催時の託児スタッフなどで活躍していただきます。



松本わらべ館設立準備室

TEL:090-8854-3935 (赤沼)

～プラチナ世代から現役・子ども世代への文化の還元を目指して～

「い～れて!」「い～いよ!」の一言で友達になれるのは子どもたちの才能だろう。子どもにとってはありふれた日常のワンシーンであるが、大人になるとそんな日々にと、ノスタルジーを感じる人も少なくないのではないだろうか。きっと、ここで遊んでいる子どもたちも10年、20年後、この風景に思いを馳せる時が来るだろう。

松本わらべ館準備室代表・赤沼さんは自身も現在6歳から3歳の3児を育てる母親である。昨年まで暮らしていた鳥取にあるわらべ館を気に入った我が子との「約束」を守るべく、松本わらべ館を設立・設置する活動を始めた。当初は自身を含め2人だったスタッフも、母親同士のクチコミによって現在は10人まで増えた。取材時はあいにくの天気だったものの、天気なんてなんのその。アルプス公園の北口を少し下ると見えてくる古民家からは、楽しそうな声が聞こえてきた。毎週土曜日、様々な遊びが子どもたちを待っている。

集まったママや子どもたちはスタッフのママさんが企画した信州の田舎料理・やしょうまづくりに夢中。おもちゃで遊べる施設は全国にいくつか存在するが、松本わらべ館のように体験が常時できる場所は少ない。オリジナリティーに富んだわらべ館には、昨年毎週100人前後の来館者があったという。取材時に指導していた松本農村生活マスターの会は県知事から認定を受けた女性農業者の団体であるが、赤沼さん達は個人のプラチナ

世代の人にこそ、昔自身が遊んでいた遊びなどを伝える“文化の還元人”となって欲しいと考えている。

また、松本市＝観光都市という特性を活かした取り組みにも興味がある赤沼さんは「見て、食べて、だけの観光じゃなくて、そこに体験がプラスできれば、子どもにも、大人にも楽しい観光になると思うんですよね」と語る。そんな赤沼さんの夢は中心市街地に松本わらべ館をお引っ越し、常設すること。秋口まではアルプス公園北口近くの古民家を使用しているが、冬の移転先は現在検討中とのこと。入館料は1回100円(体験は別途料金)で予約不要。(とざわ)



『教えるほどじゃないよ』ってご謙遜される方、多いんですけど、そういう遠慮とか、取っ払っていきたいです。と語る赤沼さん。

今月の松本わらべ館体験イベント

- 日時:(すべて10:00～15:00)
- 7月21日 そば打ち・水鉄砲体験
 - 7月28日 わらべ歌遊び・松本七夕人形づくり
(七夕人形は10:00～12:00)
 - 8月4日 陶芸体験
 - 8月11日 そば打ち・たけとんぼ・風車作り
- 場所:松本市アルプス公園古民家体験施設(北口駐車場そば)
問合せ:上記連絡先、又はホームページ
<http://ameblo.jp/warabekan/>をご参照ください。

Books of NPO

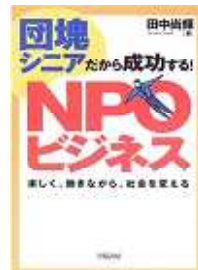
高齢化なんて言わせない!

セカンドライフの活用術としてのNPO活動

団塊の世代のためのセカンドライフ指南書としてオススメしたい『団塊シニアだから成功する! NPO ビジネス - 楽しく、働きながら、社会を変える -』

「団塊シニアが社会を変える」ことを現実のものにしていくためのパワーとネットワークを形成のために書かれた本書には、NPOビジネスやシニアネットワークの実例と、長年NPOに携わる著者ならではのヒントが多数紹介されています。

法律の改正によってより身近になったNPOは「団塊の世代にとって、今までしてきた仕事や経験や趣味を活かせる場所である」と著者は言いますが、長野県ではシニア世代や企業の方々にNPOのアドバイザーやリーダーとして活躍していただくための人材“プロボノ”【NPO協力隊】育成事業を昨年度から実施しています。プロボノとはラテン語で《公共善のために》を意味する pro bono publico の略。NPO の人材不足の解消や、組織基盤の整備のための事業として、今年も8月から開催されますので、社会で何かをしたいと考える現役の企業人や企業・労組OB の皆さん、自分の活動以外の組織でも自分の力を役立てたいと思う市民活動実践者は、参加してみたいかがでしょうか。



田中尚輝, 2006 学陽書房発行



INFORMATION

お申込・お問合せは各団体に直接お願い致します。

イベント・募集情報をお寄せください。

サポートセンター通信やホームページで、皆さんのイベント情報や募集情報などをご紹介します。

「子どもたちの食を考える会」食育講演会
子どもたちの健康を守り、より良い食生活を考えるために「子どもたちの弁当作りから見える家族のコミュニケーション」と題して講演会が開催されます。

講師 竹下和男氏

(子どもが作る「弁当の日」提唱者)

日時 7月29日(日)9:30~12:00

場所 松本市勤労者福祉センター
大会議室

問合せ TEL: 0263-32-2817

FAX: 0263-36-7056

担当(伊藤・鶴田・渡辺)



「NPO運営・基礎セミナー」(長野県「新しい公共」支援推進事業)
NPOの関係者はもちろん、法人立ち上げ検討中の方、NPOに興味のある方、どなたでもご参加いただけます。

日時 8月30日(木)

内容

・9:30~12:00

「NPOの基礎知識

事業計画と定款から見る法人の姿と運営」

講師: 増田 綾子氏

(NPO法人くらりnet事務局長)

・13:30~16:30

「事業づくりと資金調達

参加者の事例から事業と資金作りを考える」

講師: 田中 尚輝氏

(NPO法人市民福祉団体全国協議会)

会場 松本市市民活動サポートセンター

資料代 1テーマにつき500円

問合せ NPO法人くらりnet

TEL&FAX: 0265-56-8056

E-mail: info@clari-net.org



いのちを見つめるパネル展

会場 あがたの森文化館2-8教室

日時 8月3日(金)~5日(日)

内容

・パネル展 3日~5日 10:00~17:00 (最終日12:00)

病气や事故で亡くなった人と家族の思い出を展示

高山洋武さんの作品展(陶芸、イラスト等)

・講演 4日 13:30~

「流した涙の先に・・・赤ちゃんの死を前にして」

講師 竹内正人氏(産科医師として国、地域を越えたさまざまな取り組みを展開。今までに出会った赤ちゃんの死をとおして伝えたい事をメッセージとして送っている。)

・Everly ハートフルコンサート 5日 13:30~

(要予約)小学生以上2000円

問合せ いのちの会 090-5419-7355(吉澤)

たんぼぼの会 090-7428-1587(山下)



「子どもを被害者にも加害者にもしないために」

シンポジウム&講演会

日時 9月8日(土)10:00~16:00

場所 Mウイング6階大ホール

(有料駐車場有。公共交通機関利用をお願いします。)

内容

・講演 10:05~12:00 「子どもの性の安全」(仮題)

講師 山本恒雄氏(日本子ども総合研究所子ども

家庭福祉研究部家庭福祉担当部長)

・シンポジウム「各機関との連携を考える」

参加機関/県警察本部少年課、県松本児童相談所

長野県総合教育センター教育専門官

CAP ながの、ながの心の研究所臨床心理

アドバイザー/山本恒雄氏

コーディネーター/野見山哲生氏

(信州大学医学部衛生学公衆衛生学講座教授、医師)

参加人数 300人程度(先着順)

参加・研修費 一般2000円、高校生以下無料

学生1000円(学生証コピー必要)

申込 Faxまたはメール(8月24日(金)締切)

問合せ ながの子どもの健やかな成長を願うネットワーク事務局(池田町社会福祉協議会内)

TEL: 0261-62-9544 FAX: 0261 62-2680

E-mail: info@ikedashakyo.or.jp

盲導犬と一緒に歩いてみよう

盲導犬は目の見えない人とどんなふうに歩いているのでしょうか。盲導犬の仕事ぶりを見ながら、自然と一緒に楽しみませんか?



場所 戸隠森林植物公園(長野市戸隠中社)

日時 8月19日(日)10:30~14:00(解散予定)

集合場所・時間等

・松本から列車利用で参加・・・7:50松本駅改札集合

8:05発長野行き乗車 長野駅~戸隠(バス)

・自家用車利用の方・・・現地集合、現地解散

*詳細は申し込みの際にお尋ね下さい。

定員 30人(8月10日申し込み締め切り)

参加費 1000円(現地までの交通費、昼食代は各自負担で、参加費とは別)

問合せ 長野県ハーネスの会 080-1043-7315(前野)

編集後記

サポートセンター通信も、この度無事に第40号を発行することが出来ました。これからも、皆様の身近にいつも寄り添い、いつでも気軽に手に取っていただけるような親しみやすい機関紙を目指して、より良い紙面を作っていきたいと思えます。(かわかみ)

